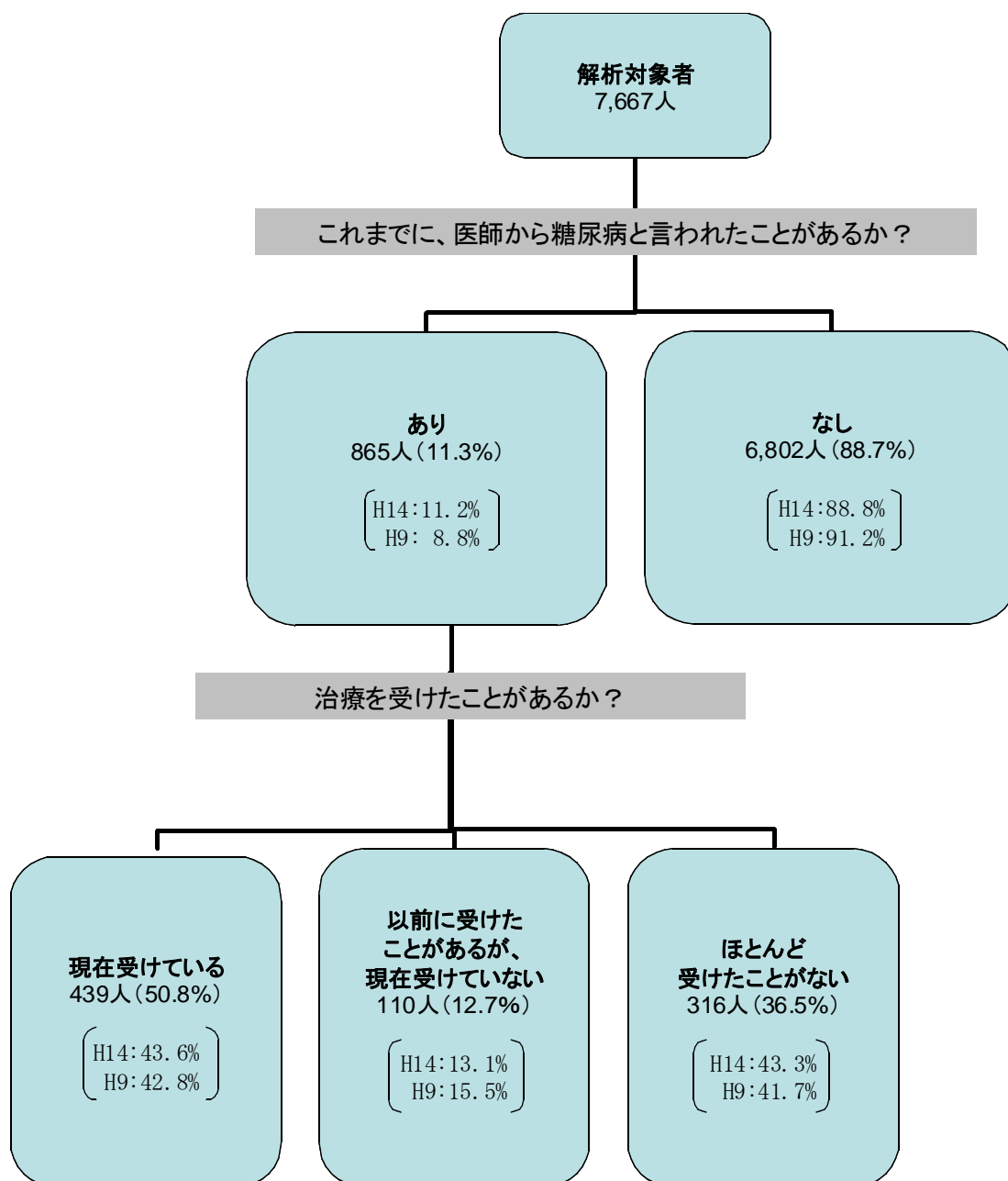


1-4. 糖尿病に関する医療サービス

医師から糖尿病と言われたことがある者（「境界型」、「糖尿病の気がする」、「糖尿病になりかけている」、「血糖値が高い」等のように言われた者も含む）は、平成14年と同水準だったが、「現在治療を受けている」者は増加していた。

図3 糖尿病に関する医療サービスの状況（20歳以上）

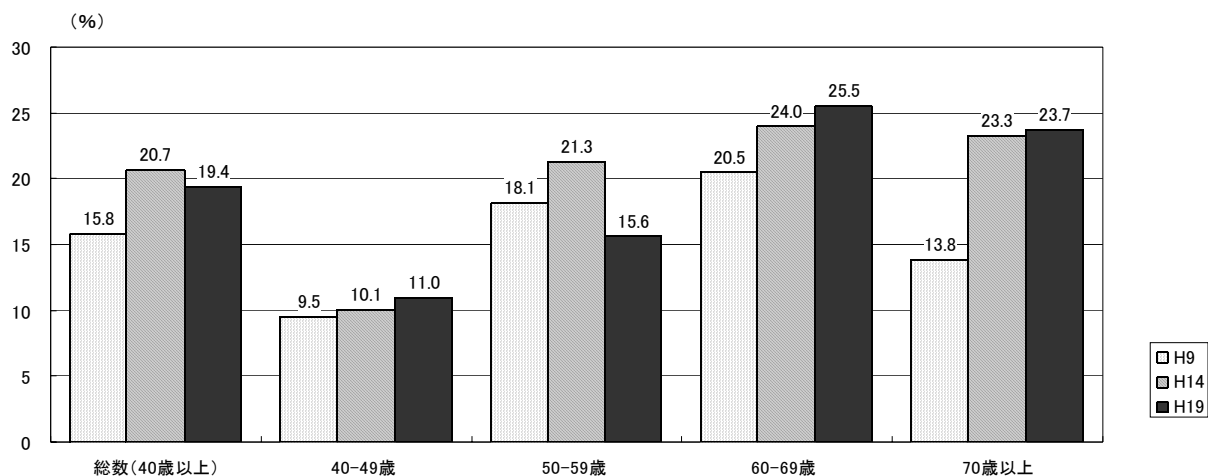


1-5. 医師から糖尿病と言われた者の状況

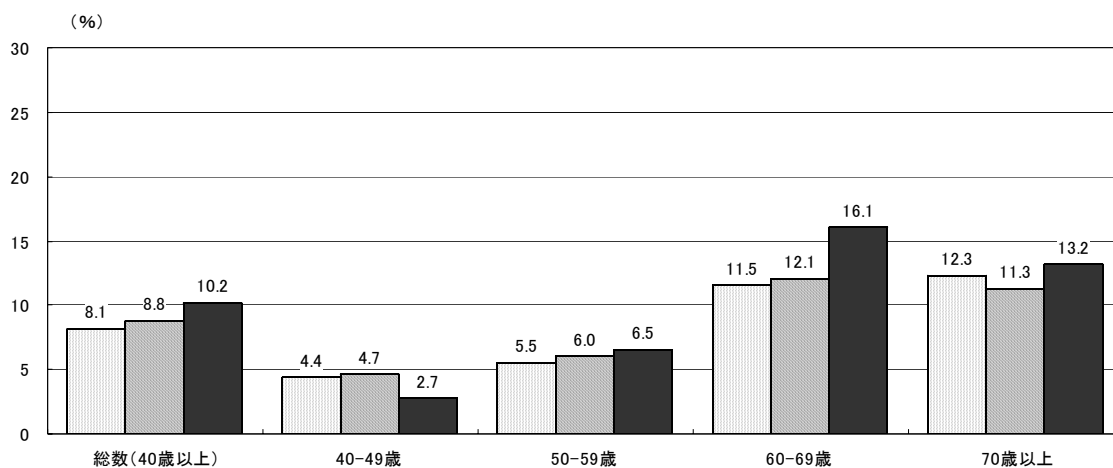
医師から糖尿病と言われた者（「境界型」、「糖尿病の気がある」、「糖尿病になりかけている」、「血糖値が高い」等のように言われた者も含む）の割合は、40歳以上で、男性19.4%、女性10.2%であった。

図4 医師から糖尿病と言われた人の割合の年次推移（40歳以上）

男



女



※「これまでに医師から糖尿病と言われたことがある」には、「境界型である」、「糖尿病の気がある」、「糖尿病になりかけている」、「血糖値が高い」等のように言われた人も含まれている。

1-6. 医師から糖尿病と言われた人における合併症の状況

「医師から糖尿病と言われた人における、治療経験別合併症の割合」は、神経障害が最も多く、11.8%であった。また、合併症がある者について、治療の状況を見ると、「現在治療を受けている」者が約7割。

表6 医師から糖尿病と言われた人における合併症の割合（20歳以上 総数）

神経障害なし	神経障害あり	
757人 (88.2%)	101人 (11.8%)	
	(再掲) 現在治療を受けている	79人 (78.2%)
	(再掲) 以前治療を受けたことがあるが、 現在受けていない	10人 (9.9%)
	(再掲) ほとんど治療をうけたことがない	12人 (11.9%)

網膜症なし	網膜症あり	
766人 (89.4%)	91人 (10.6%)	
	(再掲) 現在治療を受けている	67人 (73.6%)
	(再掲) 以前治療を受けたことがあるが、 現在受けていない	8人 (8.8%)
	(再掲) ほとんど治療をうけたことがない	16人 (17.6%)

腎症なし	腎症あり	
760人 (88.9%)	95人 (11.1%)	
	(再掲) 現在治療を受けている	70人 (73.7%)
	(再掲) 以前治療を受けたことがあるが、 現在受けていない	9人 (9.5%)
	(再掲) ほとんど治療をうけたことがない	16人 (16.8%)

足壊疽なし	足壊疽あり	
850人 (99.3%)	6人 (0.7%)	
	(再掲) 現在治療を受けている	4人 (66.7%)
	(再掲) 以前治療を受けたことがあるが、 現在受けていない	1人 (16.7%)
	(再掲) ほとんど治療をうけたことがない	1人 (16.7%)